

第2期香美市教育振興基本計画(骨子案)

目次

第1章 計画の策定について.....	1
1 策定の背景	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間.....	1
第2章 香美市の現状と課題.....	2
1 香美市の子どもを取り巻く状況.....	2
2 生涯学習の状況	6
3 前期計画の進捗と評価	10
4 本計画における課題のまとめ	10
第3章 計画の基本的考え方と体系.....	11
1 基本的考え方	11
2 施策の全体体系	13
第4章 計画の内容.....	13
基本目標1 探究的に学び、社会を生き抜く力をもった人材の育成.....	13
基本目標2 市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会の構築.....	13
基本目標3 夢を育み、新たな価値を創造する教育の展開	13
第5章 計画の推進に向けて	14
1 計画の指標一覧.....	14
2 推進体制.....	14
3 市民や多様な団体・機関との協働.....	14
4 計画の進行管理	14
参考資料	14

第1章 計画の策定について

1 策定の背景

近年は技術革新や様々な分野でのグローバル化などの変化が加速度を増し、社会の在り方が劇的に変わる時代が到来しています。加えて、新たな感染症の世界的流行、気候変動や頻発する大規模災害、世界各地で止まない武力紛争など、今の時代を生きる我々が経験したことない課題に直面し、様々な局面で将来の予測が困難な時代となっています。

これからの時代を生きる子どもたちには、持続可能な地球環境の維持や個人の幸福はもとより、社会全体の幸福の実現を目指し、予測される社会の課題や変化に対応しつつ、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していけるように、教育の在り方も柔軟に変化し続けていく必要があります。

このようななか、国では「第4期教育振興基本計画」(令和5年度～令和9年度)の策定に向けて、現行計画の評価と次期計画への課題を整理すると同時に、高知県では令和4年3月に「第3期高知県教育振興基本計画」(令和2年度～令和5年度)の第2次改訂を実施し、急激に変化する社会のなかで子どもたちが次代の担い手として活躍できるような施策を検討しています。本市においても、平成31年度より推進してきた「香美市教育振興基本計画(後期)」(以下、「前期計画」と記載)の計画期間が令和5年度に終了することをうけて、令和6年度を初年度とする「第2期香美市教育振興基本計画」(以下、「本計画」と記載)を策定し、本市の教育の一層の推進を図ります。

2 計画の位置づけ

本計画は、教育基本法第17条第2項に規定される基本計画であり、国・県の教育振興基本計画を勘案して、策定します。

また、第2次香美市振興計画を上位計画とし、第2期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略、その他の関連計画との整合を図ります。

3 計画の期間

令和6(2024)年度から令和15(2033)年度までの10年間とします。

資料編に計画策定の経過を掲載します。

第2章 香美市の現状と課題

1 香美市の子どもを取り巻く状況

(1)就学前の子どもの状況

■0～5歳児の人口の推移

■幼稚園園児及び保育所在所者の動向

統計データと説明文を掲載します。

(2)小学生・中学生の状況

■小学生数の動向

■中学生数の動向

(3)全国学力学習・状況調査の結果

■令和4年度の結果(小学6年・中学3年)

■全国平均との差の推移(小学6年・中学3年)

■全国学力・学習状況調査質問紙調査(小学6年・中学3年)

(4)特別な支援を要する子どもの状況

■不登校児童数(小学校)

■不登校生徒数(中学校)

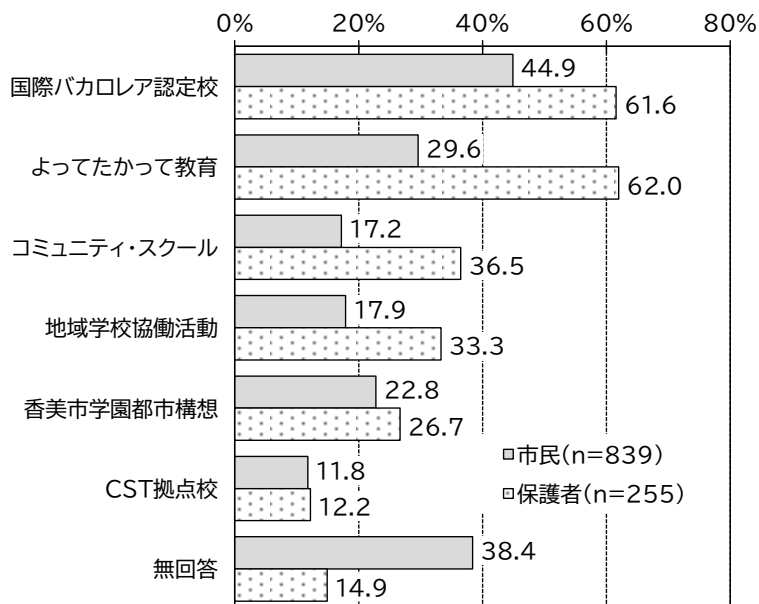
■特別支援学級在籍児童・生徒数(小学校・中学校)

■県立山田特別支援学校在籍児童・生徒数(小学校・中学校)

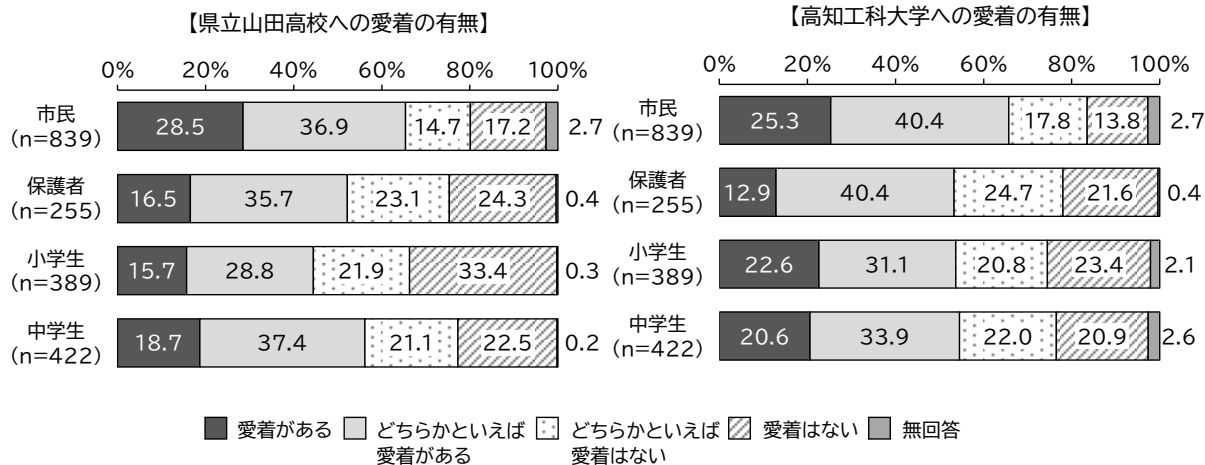
(5) アンケート調査からみる教育に関する意識と実態

■香美市の教育の取組の認知度

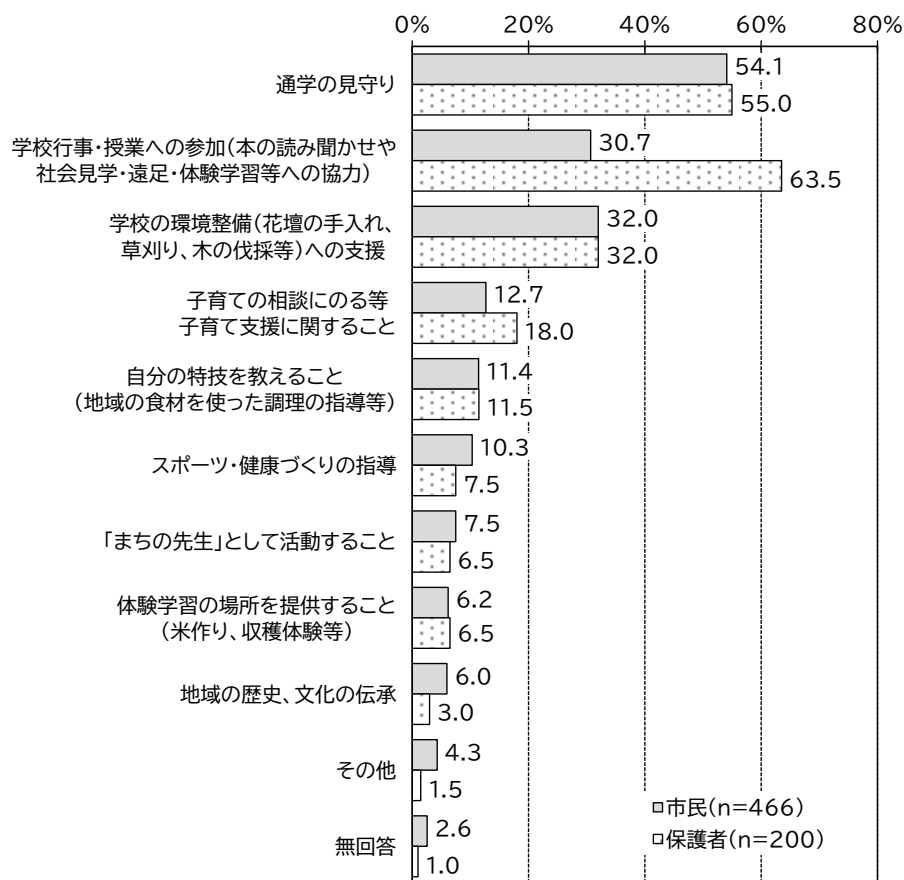
アンケート結果と説明文を掲載します。



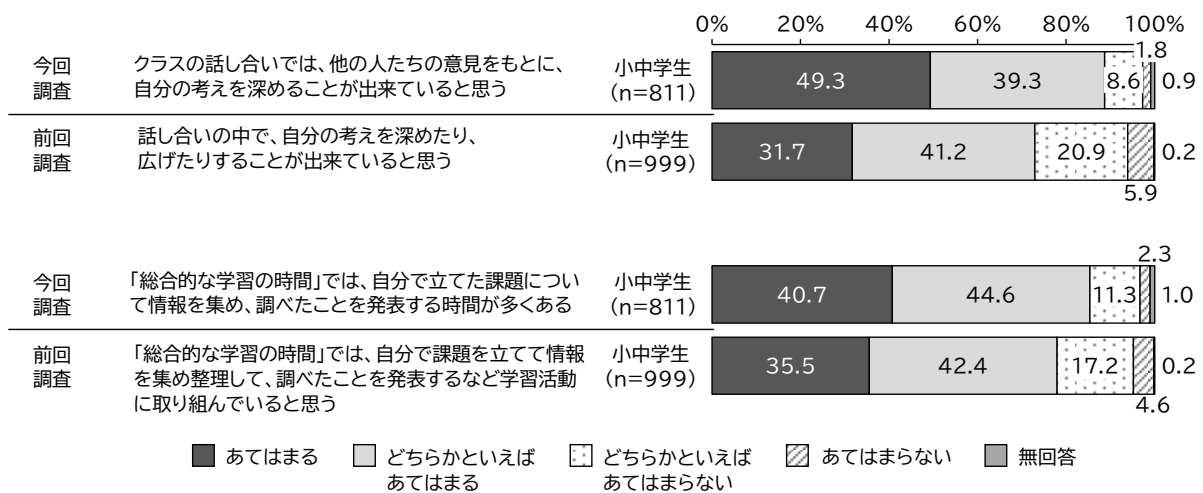
■県立山田高校・高知工科大学への愛着



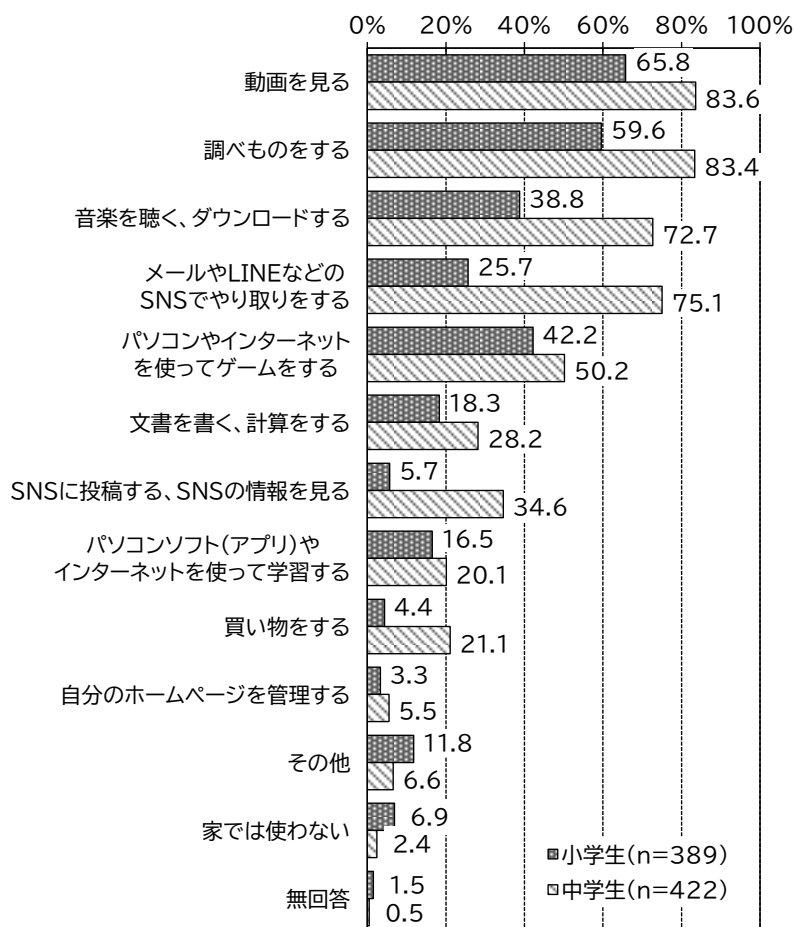
■教育に協力できること・したいこと



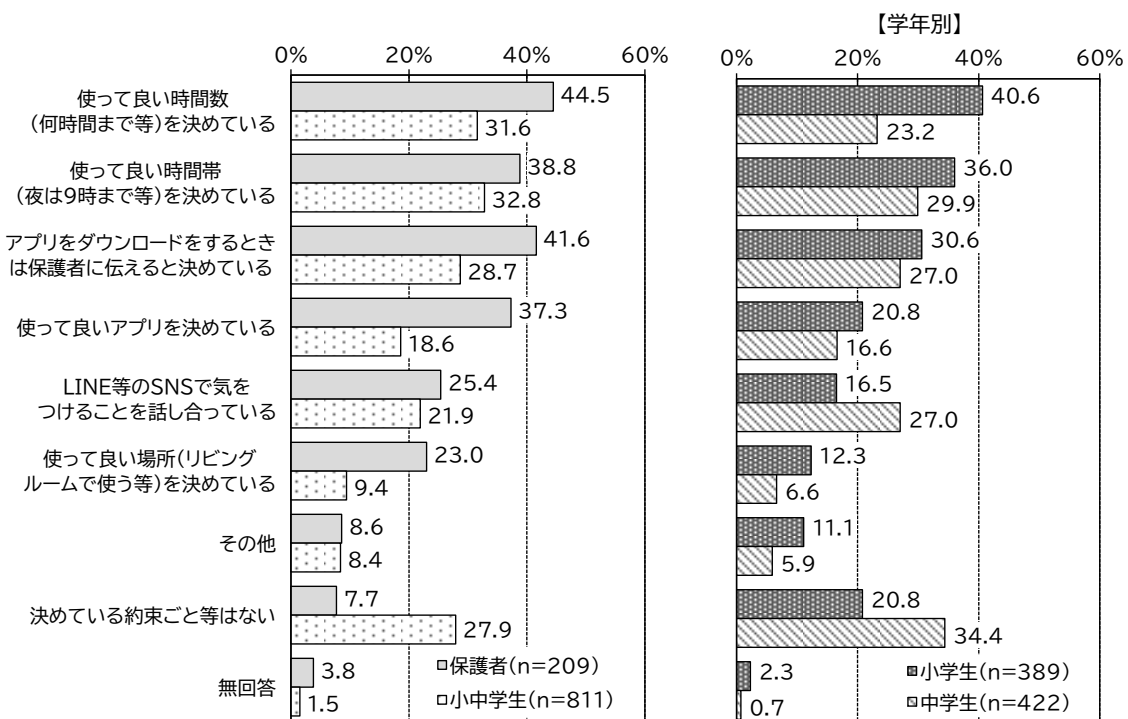
■学校での取り組み



■電子通信機器の利用状況



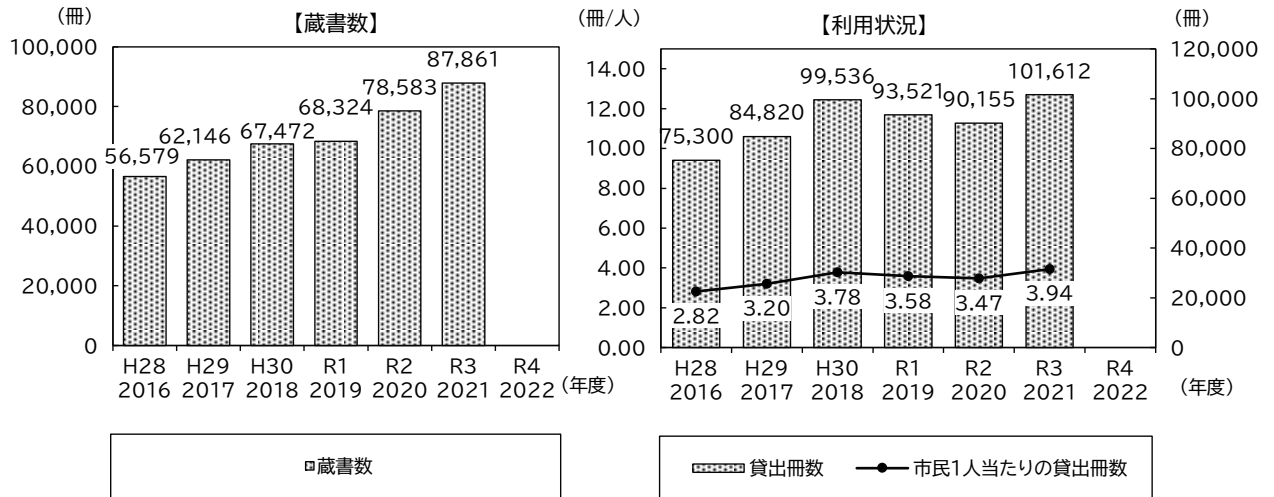
■電子通信機器を使うときの約束ごと



2 生涯学習の状況

(1)生涯学習環境

■図書館の蔵書数と貸出冊数の推移



■体育施設別利用人数の推移

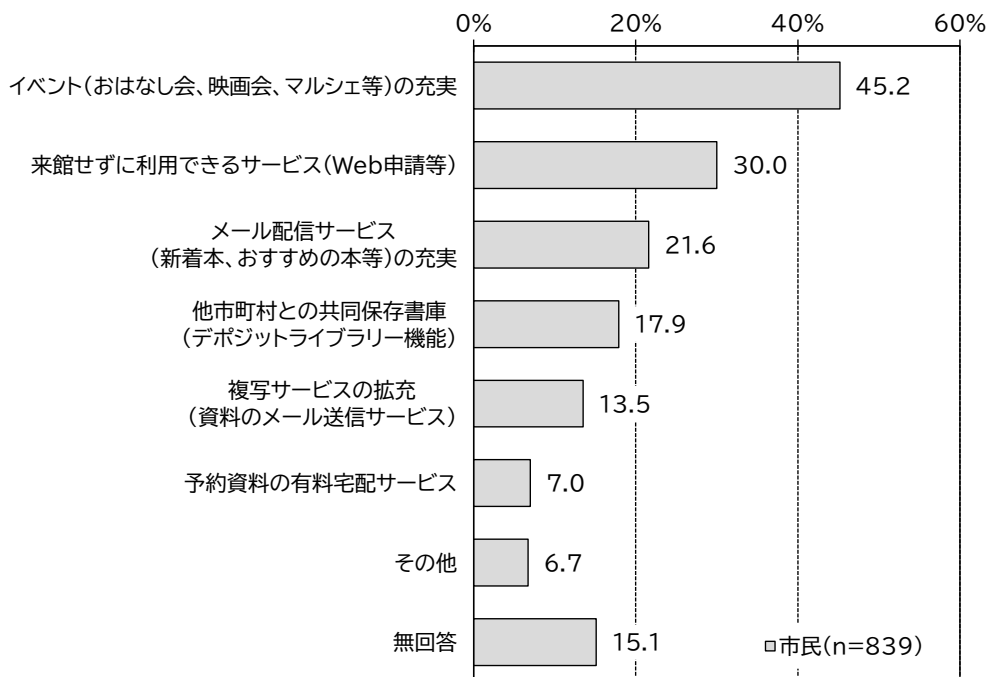
		平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)
屋外施設	土佐山田グラウンド	3,080人	3,758人	2,932人	3,210人	3,562人
	土佐山田テニスコート	3,283人	3,711人	4,915人	4,164人	4,798人
	市民グラウンド	3,708人	121,141人	118,628人	65,579人	5,659人
	市民グラウンド内テニスコート	4,608人	2,941人	1,714人	1,730人	632人
	物部グラウンド	1,388人	5,221人	3,321人	1,413人	1,229人
	香北総合型競技施設	1,656人	3,897人	3,890人	368人	753人
	農村広場	9,102人	5,828人	4,220人	2,790人	2,470人
	香北グラウンド	7,004人	3,406人	2,818人	2,091人	1,895人
	屋外施設 計	33,829人	149,903人	142,438人	81,345人	20,998人
屋内施設	土佐山田体育館	19,069人	20,165人	18,654人	15,739人	16,153人
	佐岡体育館	5,847人	4,068人	5,125人	2,543人	3,023人
	香北体育センター	26,692人	7,594人	8,098人	3,036人	4,132人
	香北武道館	12,699人	1,558人	1,201人	2,661人	5,068人
	香北B&G海洋センター	2,369人	2,170人	1,813人	861人	-
	屋内施設 計	66,676人	35,555人	34,891人	24,840人	28,376人
合計	100,505人	185,458人	177,329人	106,185人	49,374人	

■国の指定文化財・登録文化財

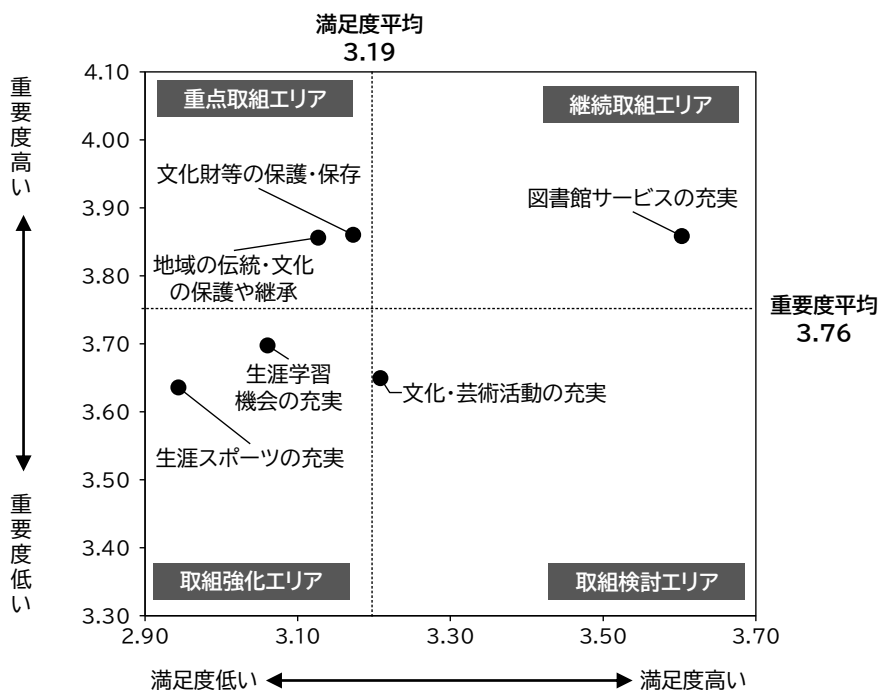
名称	種別	所在地	指定年月日
龍河洞	史跡	土佐山田町逆川	1934年12月28日
谷重遠臺	史跡	土佐山田町植(マエヤマ)	1944年11月13日
龍河洞	天然記念物	土佐山田町逆川	1934年12月28日
三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落	天然記念物	物部町三嶺	1994年9月1日
土佐の神楽(いざなぎ流御祈祷)	無形民俗	物部町別府	1980年1月28日
山本家住宅	建築物	土佐山田町東本町5-2-1 1	2000年12月20日
松尾酒造主屋	建築物	土佐山田町西本町5-1	2003年7月1日
松尾酒造北酒蔵	建築物	土佐山田町西本町5-1	2003年7月1日
松尾酒造西酒蔵	建築物	土佐山田町西本町5-1	2003年7月1日
松尾酒造南酒蔵	建築物	土佐山田町西本町5-1	2003年7月1日
松尾酒造表門及び塀	工作物	土佐山田町西本町5-1	2003年7月1日
松尾酒造煉瓦塀	工作物	土佐山田町西本町5-1	2003年7月1日
百年舎主屋	建築物	土佐山田町東本町2-80	2003年12月1日
百年舎蔵	建築物	土佐山田町東本町2-80	2003年12月1日
百年舎門	工作物	土佐山田町東本町2-80	2003年12月1日
百年舎内塀	工作物	土佐山田町東本町2-80	2003年12月1日
百年舎外塀	工作物	土佐山田町東本町2-80	2003年12月1日
溪鬼荘	建築物	香北町猪野々514	2015年3月26日
大川上美良布神社神庫	建築物	香北町蕪生野243-イ	2017年5月2日

(2) アンケート調査からみる生涯学習に関する意識と実態

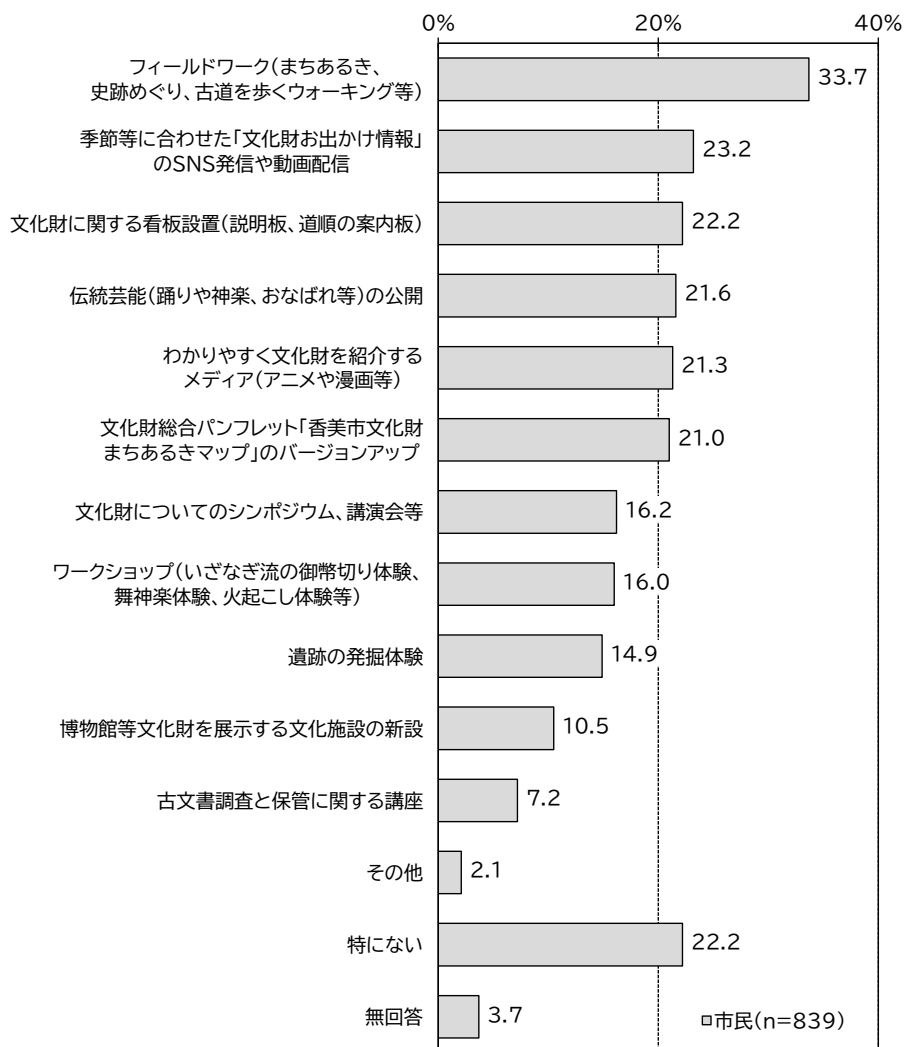
■図書館で充実してほしい機能



■生涯学習環境に対する満足度と重要度ポートフォリオ



■文化財活用の取組の参加意向



3 前期計画の進捗と評価

前期計画の行動実績と到達目標に対する達成状況、本市教育委員会による内部評価と、学識経験を有する外部評価員による外部評価の内容を総合的に勘案し、前期計画の総合評価を行いました。

<前期計画の総合評価>

視点	基本的方向	総合評価
「学ぶ！」 主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます	(1)きめ細やかな教育・保育の推進と体制整備	2
	(2)活力ある保育所・学校づくりの推進	3
	(3)たくましく生きる人間力を培う教育の推進	3
「つながる！」 市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます	(1)香美市のたからを活かしたふるさと教育の推進	2
	(2)子育て支援と親支援の推進	3
	(3)市民協働で地域の教育力を高める取組の推進	2
「未来を拓く！」 夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します	(1)次世代を見通した教育の環境整備と実践	3
	(2)高知工科大学との連携	2
	(3)生涯を通した豊かな学びと文化・芸術、スポーツ活動の充実	2

※評価基準：4：想定以上の成果、3：概ね想定どおりの成果、

2：成果が得られたが改善が必要、1：見直しが必要

(1)主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます

施策評価資料から前計画の「視点」ごとに抜粋・要約して文章を掲載します。

(2)市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます

(3)夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します

4 本計画における課題のまとめ

第3章 計画の基本的考え方と体系

1 基本的考え方

(1)基本理念

本市では、保育所から大学までの教育機関がそろそろ恵まれた教育環境を活かし、各教育機関の連携を密にして、連続して子どもの育ちを保障する教育を行う「香美市学園都市構想」とともに、市民一人ひとりが主人公となる「よってたかって教育」を推進しています。

本計画においては、これまでの取組を一層充実し、力強く推進していくことから、基本理念は前期計画を踏襲し、3つの目標を継承しつつ、子どもたちの健やかな育ちと市民が生涯学び続けるまちづくりを進めていきます。

郷土を愛し、未来を創る人づくり

～学び、つながり、未来を創る～

前期計画と同様に、基本的考え方を図式化します。

「学ぶ！」

探究的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます

「つながる！」

市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます

「未来を創る！」

夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します

(2)基本方向：探求学習の更なる推進

多くの市民の参画によって、本市の教育を創りたいという願いが込められた「香美市よってたかって教育」において、「探求あふれる 学園都市 香美市」を掲げて、市内のいたるところで「探求」的な活動が沸き起こるまちをめざしています。

これからの時代を生き抜くためには、自ら課題を見つけ、多様な人々と協働しながら解決していく力が求められています。探求学習は、偏差値では測れませんが、社会を生きる上で大切な「非認知能力」を養う重要な役割を果たします。「非認知能力」とは、“自らの意志に基づき考え、判断し、行動する主体性”、“自ら問いを立てることによって学び続ける探求性”、“多様な他者と関われる協働性”、“地域や社会における出来事を自分に関わることだと思える社会性”などを指します。「非認知能力」と、学力テストや知能テストなどで数値化して評価できる「認知能力」は、相互に作用し、お互いに影響を与え合うものであり、「認知能力」の発達にも役立ちます。

本市の探求学習は、県立山田高校や高知工科大学の動きとも連動しており、本市と高知工科大学、県立山田高校、県立山田特別支援学校を構成員とする「香美教育コラボレーション会議」という連携・協働につながる場を定期的で開催しています。「子ども会議」、「香美教育コラボ・プレゼン・フェア」、「よってたかって生涯学習フォーラム」など、この会議の場におけるアイデアが実現にむすびついた事業も多数実施しています。

「香美教育コラボレーション会議」は、子どもに視点をおいて、子どものためにできることを、参加者が自由に出し合い、本市における連携・協働の可能性を開拓する会議です。行政主導ではなく、構成員の自主的な参加により、全員が同じ方向を向いて、子ども主体のより良い教育環境のために力を合わせることができる場があるということ自体が本市の特徴であり、先進的な探求学習を実践できる土壌となっています。まさに「香美市よってたかって教育」を体現するものであるといえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に結びついており、こうした活動に関わる高校生や大学生、市民にとっての「学び」の場となっています。

また、香美教育コラボレーション会議を通じた連携・協働が広がったことで、市内の小中学校が主体的に申し出て、県立山田高校や高知工科大学、地域と協働するという意識が浸透し、各小中学校の探求学習が成果をあげています。

本市では、子どもから大人まで、市民が社会に関心を持ち、自ら問を立て、考え、調べるという本当の学びである様々な「探求」的な活動が実践され、生涯学び続けていけるような教育の在り方を、今後も更に推進していきます。

第2期計画全体を貫く視点として、
以下の3点について考え方を示します。

(3)基本視点

- ①誰一人取り残さない香美市の教育
- ②新しい時代に必要な資質・能力の育成
- ③生涯100年時代における市民一人一人のウェルビーイングの実現

2 施策の全体体系

施策体系図を掲載します。

第4章 計画の内容

各施策では、「主な施策」「主な取組」「具体的な取組内容」を掲載します。(例. 1(1))

基本目標1 探究的に学び、社会を生き抜く力をもった人材の育成

施策の方向(1)きめ細やかな保育・教育の推進と体制整備

<主な施策>

- ①0歳から15歳にわたって子どもの育ちの連続性を保障する保育・教育の推進
- ②子供の社会的自立に向けた就学前からの教育の充実
- ③一人一人の子供の特性や教育的ニーズに応じた支援体制の充実

主な取組	具体的な取組内容
①子どもの発達や学びの連続性を保障する就学前教育・保育の質の向上	(取組内容)
②就学前教育・保育と小学校教育の接続の強化	(取組内容)
③共生社会を目指すインクルーシブ教育の充実(保学)	(取組内容)
④多様な教育的ニーズのある子どもへの切れ目のない支援	(取組内容)

基本目標2 市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会の構築

基本目標3 夢を育み、新たな価値を創造する教育の展開

第5章 計画の推進に向けて

- 1 計画の指標一覧
- 2 推進体制
- 3 市民や多様な団体・機関との協働
- 4 計画の進行管理

参考資料